

## IV 成果と課題

- 友達を思いやる気持ちが感じられる行動をする児童が増えてきたと、多くの教職員の中から聞かれるようになってきた。
- 学習や行事にみんなで協力して取り組むよさに気づき、いろいろなことに前向きに取り組む姿が見られるようになってきた。
- 友達のいい所を進んで見つけ、みんなに伝えられるようになってきた。
- 資料分析の方法を学校全体で統一することで、児童の実態から授業の流れをつくるなど、道徳授業を充実させることができた。
- 場面絵を学年、資料ごとに作成、整理することで、授業で活用しやすくなった。
- 「にこにこモックル」、「きらきら写真館」を通して、日々の生活の中で友達とのかかわりや、友達と協力したことや頑張ったことなどを振り返ることができるようになった。
- 家庭・地域に向けて、積極的に道徳の授業を公開できた。
- 学校教育全体を通して、今後も計画的、継続的な道徳教育が求められる。そして、より充実した道徳の授業が展開できるように、さらなる研究を重ねていく必要がある。
- 児童の変容と課題を、さらに具体的に見とれるような方法を考え、実行できるようにする